CLASSIC PRO

UPS

UPS 500II
UPS 500LX
UPS 1200II
UPS 1200LX

USER'S MANUAL
日本語版

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はCLASSIC PRO UPS シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品の性能を最大限に活用し末永くお使いいただく為に、ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読み下さい。尚、本書が保証書となりますのでお読みになった後は大切に保管して下さい。

使用上の注意事項

■購入時、及び本製品を3ヶ月以上使用しなかった場合、使用前に10時間程バッテリーの充電を行なって下さい。

■本製品はパーソナルコンピューター及びサーバー用です。電気モーターやレーザープリンターなどの誘導性負荷、容量性負荷を与える機器に使用しないで下さい。

■生命維持装置などの用途には使用しないで下さい。

■本製品使用時には、UPS本体の表面温度が50℃程度にまで達することがあります。

■UPSの電源がONになっている場合のみ、停電時に電流供給します。OFFになっている場合は供給されません。

■感電の恐れがあるため、本体のケースを開けることは絶対に止めて下さい。

■感電、ショートによる発火を引き起こす恐れがありますので、本体内部に液体、異物が入らないようご注意下さい。

■万が一製品に問題が生じた場合は、直ちに使用を停止し、正規代理店又は販売店にご連絡下さい。

■本製品は過負荷防止機能を搭載していません。過度な負荷は本体のダメージにつながる恐れがありますので十分注意して下さい。

■以下のような環境でのご使用は止めて下さい。

引火性ガス、その他有害ガス及びほこりの多い場所

高温（摂氏42℃以上）、極度な低温（摂氏0度以下）及び高湿度（90%以上）な場所

直射日光下、また発熱性の電化製品のそば

振動の激しい場所

屋外

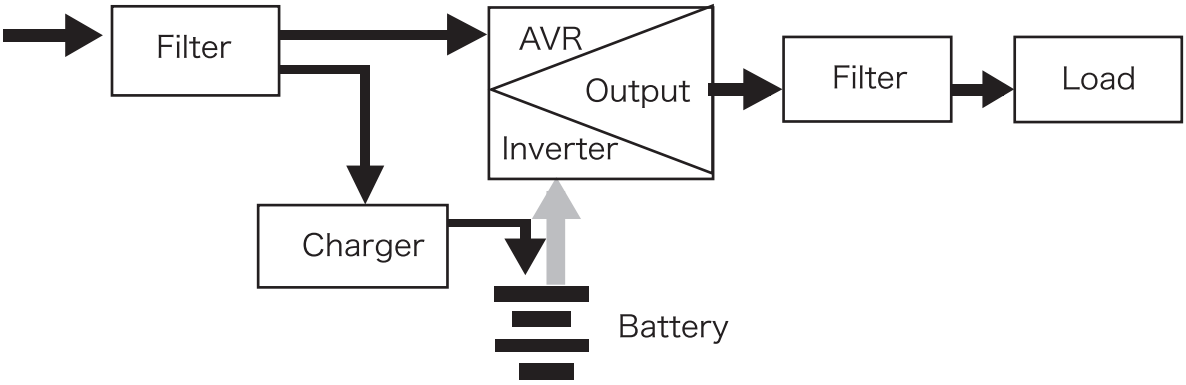
■万が一発火した際は、ドライパウダータイプの消火器で消火して下さい。液体消火器の使用は避けて下さい。

■緊急時にはいつでもコンセントを抜くことができるように接続して下さい。

※本製品を使用する際は必ずアースを接続して下さい。

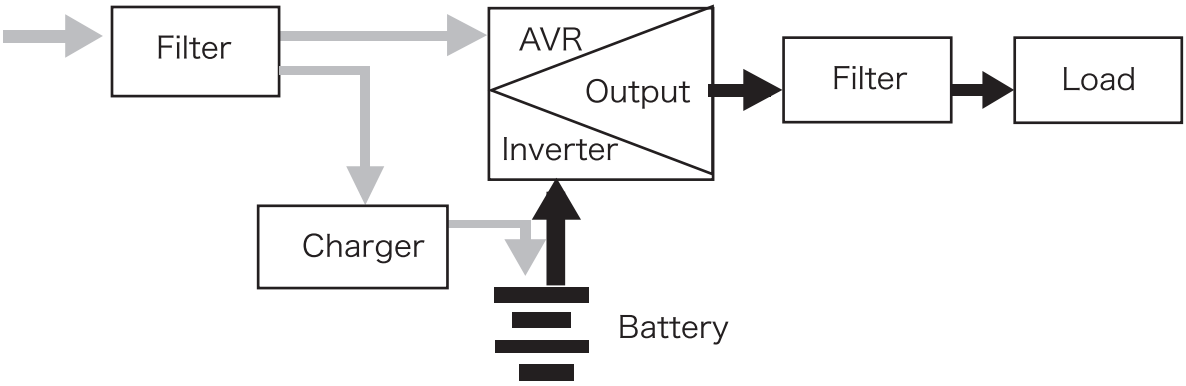
1.ＡＣモード時

UPSが通常動作している際、交流電流はフィルターを通ります。フィルターで有害な波形を除去された電流はバッテリーのチャージを行い、一方ではUPSのAVR(Auto　Voltage Regulator)から、もう一枚のフィルターを通じて、接続した機器に電源を供給します。



2.停電時

交流電流が停止すると、バッテリーからインバーターに電流が流れ、更にフィルターを通じて、接続した機器に持続的に電源を供給します。



3.バッテリーとチャージ

UPSがACに接続されている際、バッテリーは約10時間でフルに充電されます。バッテリーが切れた場合はすぐにチャージしてください。バッテリー自体の寿命を長持ちさせることができます。

メイン機能

自動運転モード：

■UPSをコンセントに接続し、フロントパネル上のONボタンを押してください。UPSの電源が入ります。

■停電した場合、UPSはすぐに接続している機器に電源を供給し始めます。

■バッテリーが切れると自動的にUPSの電源も切れます。

■再び交流電源が流れ始めた時点で、自動的にUPSの電源が入ります。

保護機能：

バッテリー過放電保護機能：

UPSがインバーターモードになってバッテリーが放電している時、バッテリー自体の動作状況をチェックし、モニターします。電圧が限界まで下がってくると、自動的にインバーターの電源が切れ、バッテリーを保護します。再び交流電源が流れ始めると、自動的にUPSの電源が入ります。

ショート回路保護機能：

インバーターモードでショートが起きた場合は、出力する電流を押さえ、UPSを保護します。ACモードでは、まず入力ヒューズによって保護されます。

インターフェース（インテリジェント・モニター機能）

このUPSシリーズは、RS232C(D-SUB9Pin)でPCとシリアル接続ができ、付属のソフトウェアをインストールすることで、UPSの電源が自動的に切れるまでシステムをモニターしたり、ファイルを保存したりすることが出来ます。

MS DOS、WINDOWS、NOVELL、UNIX、LANのシステムに対応しています。

1. 交流電流、及びバッテリー電圧の状態を自動的にチェックし、アラームメッセージを表示します。
2. 自動的に無停電電源の供給時間を予測、設定し、UPS及び交流電流のステータスを記録します。
3. UPSが自動オフするまでのカウントダウンが表示されます。
4. UPSのセルフテストの設定と、自動オフのディレイタイム設定が可能です。

停電時のアラーム機能
■UPS500II/UPS1200II：10秒毎にアラーム音を鳴らします。
■UPS500LX/UPS1200LX：2秒毎にアラーム音を鳴らし、30秒後に止まります。

その他の機能
■バッテリーの電圧が低下すると、2秒毎にアラームが鳴ります。
■バッテリーが切れると、長いアラーム音を鳴らします。アラーム音は20秒後、自動的に止まります。

フェイズロック機能
ACモード時、UPSは交流電流の位相を記録し、インバーターからの出力波形をAC電圧の波形と同じ形にすることで、ピークパルスやサージ電圧を下げ、接続した機器への障害やダメージを
最小限度に抑えます。

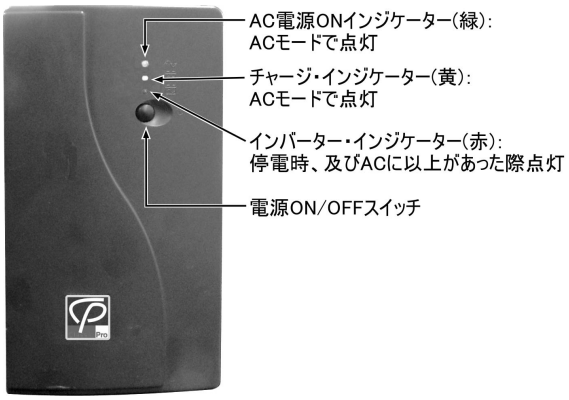
無負荷時の自動オフ機能
不必要な電力の浪費を防ぎ、バッテリー寿命を長持ちさせる為、インバーターモード時では、自動的に負荷の容量をテストします。2分で5%以下の負荷になった場合は無負荷と見なして、2分後に電源が自動的に切れます。

スペック一覧

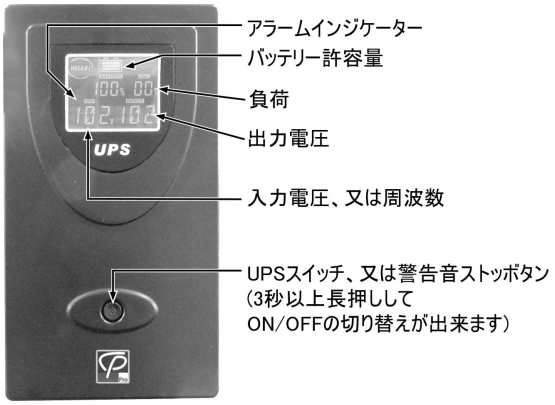
モデル		UPS500II	UPS500LX	UPS1200II	UPS1200LX
容量(VA)		500VA		1200VA	
許容電力		300W		720W	
入力	フェーズ	シングル+GND			
	電圧	100V			
	周波数特性	50Hz / 60Hz ± 10%			
出力	電圧	100V			
	波形	正弦波(通常時); ステップ波(バックアップ時)			
	周波数特性	50Hz / 60Hz ±1%(バッテリーモード)			
	波高率	3:1			
	転送時間	<10ms			
保護機能	試験基準	IEEE 587 Cat. A&B			
	TEL / FAX	電話回線(RJ11)			
ノイズフィルター	EMI / RFI	常時稼働			
インターフェース形状		シリアル接続のPCモニタリング(RS232C/D-Sub9pin)			
バッテリー	タイプ	鉛蓄電池 7AH×1		鉛蓄電池 7AH×2	
	電力効率	>80%(インバーターモード)			
	バックアップタイム	8-20分 (使用状況によります)			
騒音		<45dB(1m)			
使用に適した室温		0-40℃			
使用に適した湿度		10%-90%			
本体寸法		330×162×102mm		398×225×130mm	
本体重量		4.9kg	5.2kg	9.3kg	9.3kg
総重量		5.3kg	5.6kg	9.9kg	9.9kg
カラー		ブラック			

フロントパネル

UPS500II / UPS1200II

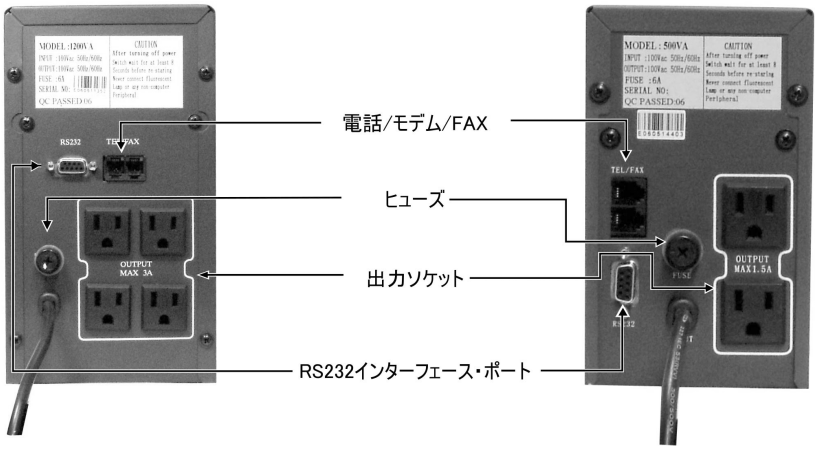


UPS500LX / UPS1200LX



リアパネル

UPS1200II / UPS1200LX



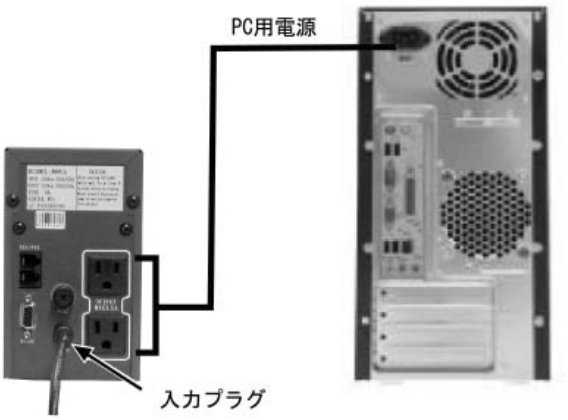
UPS500II / UPS500LX

設置と使用方法

設置

1. UPSを適切な位置に置きます。
2. 機器(PC等)をUPSに接続します。
3. UPSの電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意:オフラインUPSはPCのモニターやPCに電源を供給する為にデザインされています。
供給時間には限りがある為、プリンターやその他の機器は接続しないで下さい。



4. メインモード:フロントパネルのスイッチを押して、UPSの電源を入れます。
緑、黄色のLEDが点灯したら接続しているPC等の電源を入れます。
5. UPSの通常使用:フロントパネルのスイッチを押して、UPSの電源を入れます。
6. 通常の電源の切り方:フロントパネルのスイッチを押して、UPSの電源を切ります。

注意:

1. 通常はUPSの電源を切らずにバッテリーを充電し続けてください。
2. メインモードで障害が起こると、UPSはバッテリーモードに切り替わります。
その間に重要なファイル等を保存してください。

メンテナンス

トラブルを事前に防ぐ為のメンテナンス

下記のメンテナンスを毎月行うことでUPSをより長く安全にご使用いただけます。

1. UPSの電源を切る。
2. 通気口がふさがれていないか確認する。
3. UPS本体の表面にほこりが付着していないか確認する。
4. 各種コネクターがしっかり接続されているか確認する。
5. 湿気による結露等の付着が無いか確認する。
6. UPSの電源を入れる。
7. UPSをバッテリーモードで約5分間使用し、UPSが正常に動作すれば異常はありません。
   異常が見つかった場合は販売店にご連絡ください。

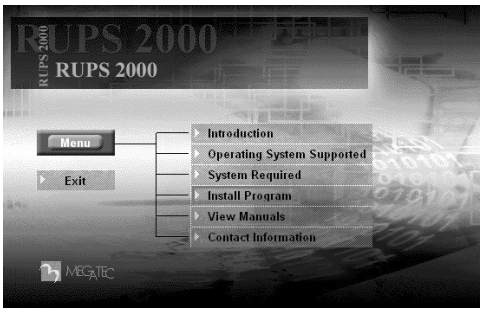
バッテリーのメンテナンス

UPSには密封鉛酸蓄電池が使用されています。このバッテリーは、使用環境、
放電の頻度により使用寿命が変化します。使用寿命はバッテリーを使用していない場合でも短くなっていきます。停電等が無い場合でも3ヶ月に1度はバッテリーを放電することをお勧めします。
下記の通りバッテリーの確認を行ってください。

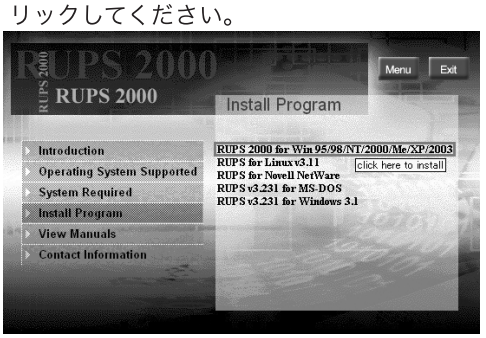
1. UPSの電源プラグをコンセントに差込み、UPSの電源を入れます。負荷の状態を覚えておき、
   最低10時間バッテリーを充電します。
2. 負荷の状態を保ったまま負荷の電力合計を記録し、UPSのコンセントを抜きます。
   UPSは自動的に電源が切れるまで放電し続けます。放電時間を記録してください。
3. バッテリーの定格寿命は通常約2〜3年です。しかし、高い気温で使用したり、頻繁に放電した
   場合等の影響で寿命が0.5〜1年短くなることがあります。
4. 時間の経過と共にバッテリーの容量は少なくなり、1回の放電時間は短くなります。
   放電時間が当初の80%程度になった場合は、バッテリー確認の頻度を半年に1度から
   1ヶ月に1度へ変えてください。

RUPS2000　インストール方法

1. 付属のCD-ROMをPCにいると、セットアップメニューが表示されます。
   Install Programをクリックしてください。



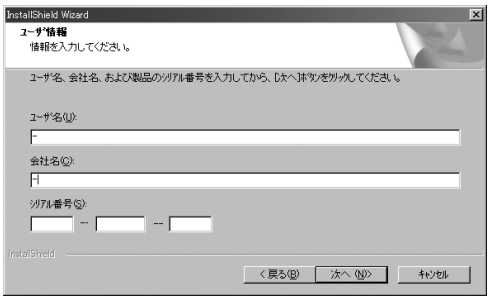
2. 右にインストールするソフトが表示されます。
   Windowsの場合はRUPS2000 for Winをクリックしてください。



3. セットアップ画面が表示されますので、
   「次へ」をクリックしてください。

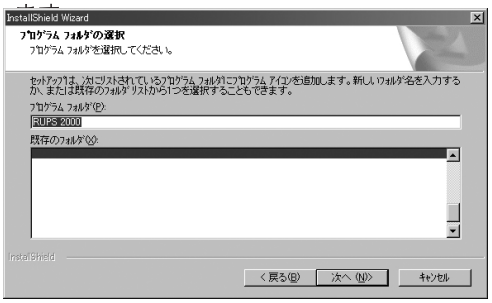
4. 使用許諾契約を読み、「同意」をクリックしてください。

5. ユーザー情報の画面：名前、会社名、シリアルNOを入力し、「次へ」をクリックしてください。

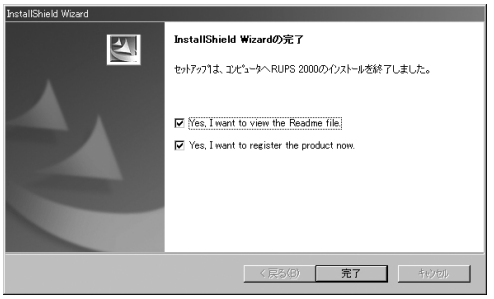


6. インストール先の選択：変更がなければ「次へ」をクリックしてください。

7. プログラムフォルダの選択：変更がなければ「次へ」をクリックするとインストールが開始され



8. インストール完了です。



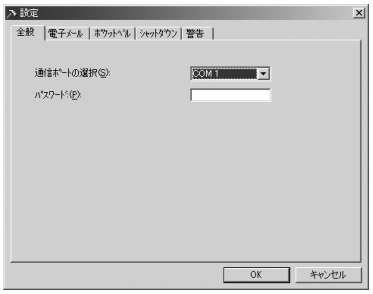
※ご使用環境によっては、OSの再起動を求められる場合がございます。

RUPS2000　停電時の自動シャットダウン設定方法

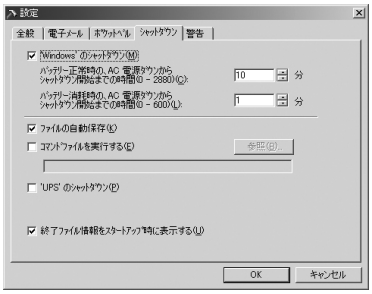
1. タスクバーに常駐されているRUPS2000をダブルクリックしてください。

2. RUPS2000のウィンドウが表示されましたら、Settingsボタンを押してください。

3. 設定ウィンドウの全般"通信ポートの選択(S)"でUPSとPCの接続したポートを選択してください。



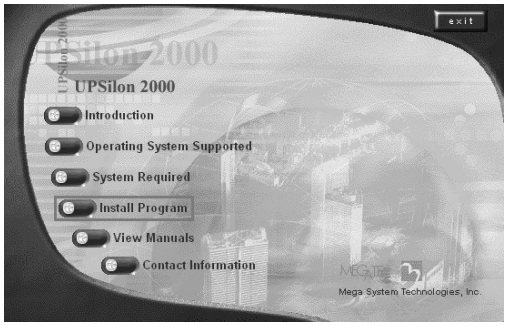
4. 設定ウィンドウのシャットダウン"Windowsのシャットダウン(M)"内
   ・バッテリー正常時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 2880)(C)で
   　停電時のシャットダウン開始時間を設定できます。
   ・バッテリー消耗時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 600)(L)で、
   　内部バッテリーが消耗した際にシャットダウン開始するまでの時間を設定出来ます。



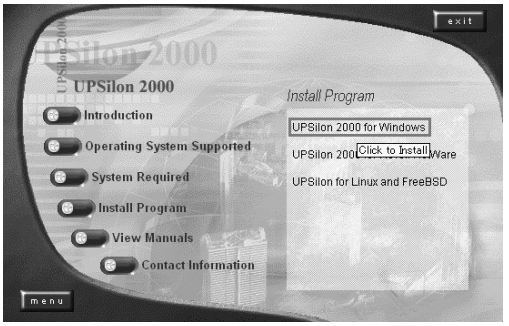
5. 設定が完了したら、OKを押し、次にRUPS2000のウィンドウを閉じ常駐した状態にすれば、
   停電時に自動シャットダウンが行われます。

UPSilon2000　インストール方法

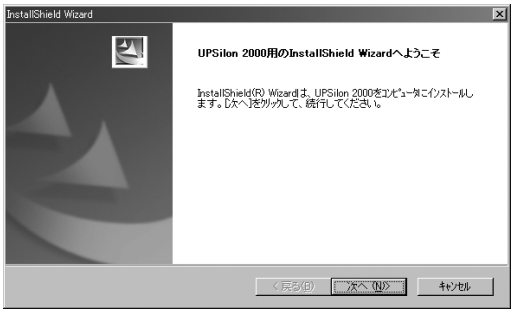
1. 付属のCD-ROMをPCにいれると、セットアップメニューが表示されます。Install Programをクリックしてください。



2. 右にインストールするソフトが表示されます。Windowsの場合はUPSilon2000 for Windowsをクリックしてください。

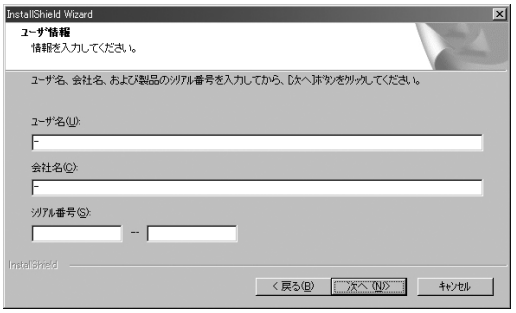


3. セットアップ画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



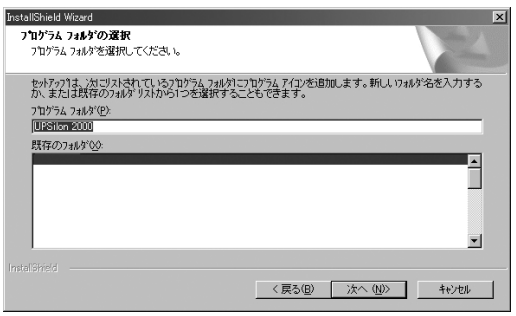
4. 使用許諾契約を読み、「同意」をクリックしてください。

5. ユーザー情報の画面：名前、会社名、シリアルNOを入力し、「次へ」をクリックしてください。

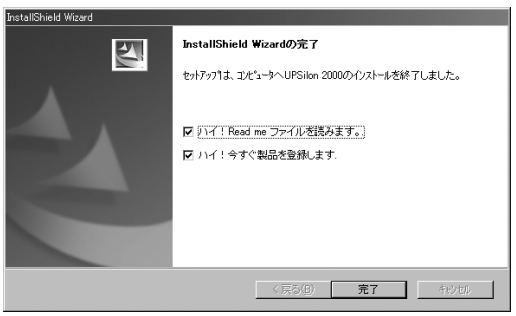


6. インストール先の選択：変更がなければ「次へ」をクリックしてください。

7. プログラムフォルダの選択：変更がなければ「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



8. インストール完了です。

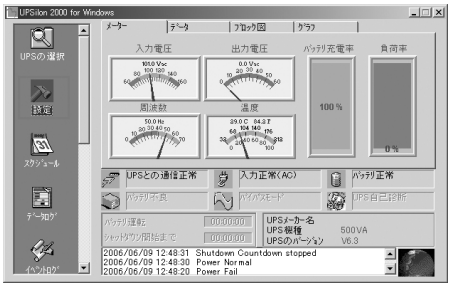


※ご使用環境によっては、OSの再起動を求められる場合がございます。

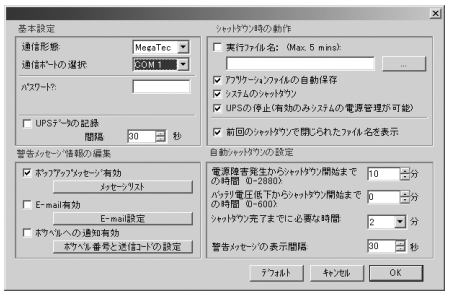
UPSilon2000　停電時の自動シャットダウン設定方法

1. タスクバーに常駐されているUPSilon2000をダブルクリックしてください。

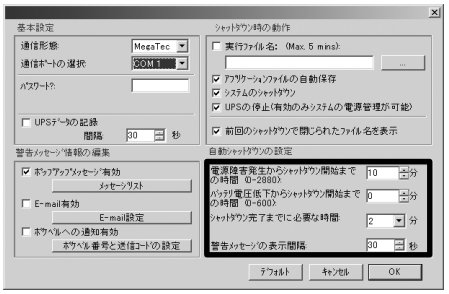
2. UPSilon2000のウィンドウが表示されましたら、設定ボタンを押してください



3. 基本設定の"通信ポートの選択"でUPSとPCの接続したポートを選択してください。



4. 自動シャットダウンの設定
   ・バッテリー正常時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 2880)
   停電時のシャットダウン開始時間を設定できます。
   ・バッテリー消耗時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 600)
   内部バッテリーが消耗した際にシャットダウン開始するまでの時間を設定出来ます。
   ・シャットダウン完了までに必要な時間
   PCシャットダウンから、ＵＰＳ停止までの時間を設定します。
   ※"UPSの停止"をONにしたときに有効になります。
   ※ PCシャットダウン後、UPSを停止することにより無駄なバッテリーの使用を避け、
   バッテリーの寿命を長くします。



5. 設定が完了したら、OKを押し、次にUPSilon2000のウィンドウを閉じ常駐した状態にすれば、
   停電時に自動シャットダウンが行われます。

トラブルシューティング

UPSはお客様の機器を障害から守りますが、使用に際し何か異常が起こった場合は以下の通りに処置し、解決しない場合は販売店にご連絡ください。

また、UPSと接続した機器の破損、データ消失などは保障対象外となります。

機種	症状	処置
UPS500II UPS500LX UPS1200II UPS1200LX	バッテリーが放電しない。	バッテリーが充電されているか確認する。UPSの電源が正常に入れられているか確認する。
	UPSの電源プラグがACソケットに差し込まれ、電源に異常が無いのにACインジケーターが点灯せず、警告音が	電源プラグを抜き取り、バックパネルにあるヒューズを確認してください。異常がある場合は新品と交換してくだ
	鳴る。 停電が起こったときPCが機能しない。	さい。 バッテリーを最低10時間充電してください。停電から復旧してからUPSの
		電源を入れてください。
UPS500LX UPS1200LX	AC出力に異常は無いが、警告音がなる。 シャットダウン時に鳴るアラーム音が止まらない。	電圧が高すぎ、又は低すぎます。 UPSilon2000の自動シャットダウンの設定の"シャットダウン完了までに必要な時間"にて設定した時間だけアラーム音が鳴ります。例：2分に設定し
UPS500LX UPS1200LX ※Windows2000使用時	自動シャットダウンの際、電源が切れず、「電源を切ることができます。」の状態で止まってしまう	た場合、2分後にUPS停止と共に音も止まります。 Windows2000及びUPSilon2000の仕様上、完全にシャットダウンせず、「電源を切ることができます。」という状態になります。こちらでも基本的には問題ありませんが、完全にシャットダウンする必要がある場合、 UPSilon2000のシャットダウン時の動作の"UPSの停止"を有効にし自動シャットダウン設定の"シャットダウン

付属品

UPS本体 1

マニュアル 1

ヒューズ 2

電源管理ソフトウェア

・UPS 500II/1200II：RUPS2000

・UPS 500LX/1200LX：UPSilon2000

※ソフトウェア、マニュアルは各CD-ROM内に入っています。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

Classic Pro